

*** 「寺田縄ホットライン」の実施訓練が行われました ***

『5月25日 午前9時 平塚市から「避難準備・高齢者等避難開始」の発令が出され、自治会長の久光さんへ伝えられた』ことを前提とした、ホットラインの伝達練習が実施されました。

組長さん、副組長さんには、殊にご足労をお掛けし、ご協力、有難うございました。

各自治会員の皆さまに、伝達は届きましたでしょうか？

会長から、自治会役員、プロモート、民生委員代表という三つのルートで伝達を受けた発信人が、まず、自宅から分担の組長さん、民生担当の方々へ電話作戦で対応しました。その後、発信人達は、自治会館に集合し、伝達状況などの情報を交換しました。

「担当の伝達が完了した報告。組長さんが不在で伝達が届かなかった報告。副組長さんに伝達した報告。伝達を待っていたとばかりに感じてくれた組長さん。電話が使われていないとのケース。勤務中の方に携帯電話では？」など様々な事態の情報を交換し、伝達が届いていなかった組への通報等々、自治会館の中では伝達の調整に追われました。

870人を超える自治会員への初めての伝達練習でした。伝達の戸惑いと難しさの入り混じった午前中でした。予告した10頃まで待っても、伝達が届かなかったというお話も伺いました。

台風の接近・上陸という事態に遭遇し、的確な伝達が円滑にできるよう、今回の「ホットライン実施訓練」を、訓練のみで終わらせることなく、具体的な反省と新たな対応策を作り上げてまいります。自治会員皆様の協力なしには、ホットラインは成立しません。 よろしく願いいたします。

寺田縄という地域に住んでいる私たちです。通りで出会い、自治会の会議で出会い、ごみの当番で出会い、日枝神社の祭、かっぱまつり、地区レク等、様々な場面での出会いを続けています。私たちは、日々、無意識のうちに、住まう人々との交流を重ねています。

防災活動は、いざの時、助け合う・命を守り合うということから、それらの出会い・交流を一層深める活動と考えています。お近くに住まう方々への配慮、とりわけ、ご高齢・一人暮らしの方、体に障害をお持ちの方など、災害弱者と云われる人々への思いを致すことを頂けたらと考えます。

今回の訓練や今後の防災活動へのお考え等、自治会役員、プロモートにお寄せください。

◆◆◆◆◆ 街頭消火器の調査 ◆◆◆◆◆

昨年に続き、道路に設置されている街頭消火器の調査を実施しています。皆様の周りに街頭消火器が設置されていることをご存知と思いますが・・・ 如何ですか。

火災の時に使用します。使用しないのが何よりですが、万が一の時、設置場所を知っておくことが、初期消火を助け、大火災を防ぐことになると思います。

自治会の班ごとにプロモートと共に調査を行っています。

(寺田縄自治会長 久光陽一、防災会代表 片山興大)